

市報 やまぐち

2020

7/1

July

No.350



特集	ぞくぞく登場！わがまち特産品	2
■	市政トピックス	6
■	災害発生時にあわてないよう 感染症の感染リスクを回避できる避難行動を確認しましょう	7
■	赤や黄色の野菜が主役のかんたんおかず	9
■	マスク等のご寄贈、心より感謝申し上げます。	10

市報やまぐちの8月1日号と8月15日号は、合併号として8月5日に発行します。

ぞくぞく登場！

わがまち 特産品

ひっぱりだこで
「モ、たいんっ！」



その特産品に、人の思いあり。

—人がつながる。ふるさとを愛する。

大間のマグロ、富山のます寿し、三重の真珠——

ある土地や地方で産出され、その地域の品として広く知られるこれらの商品は、「特産品」と呼ばれています。特産品は、その土地の気候や風土を生かした農産物や海産物、郷土料理や装飾品など多岐にわたり、全国に名を馳せるものは、それひとつで地域に大きな恵みをもたらします。そのため、これら地域資源を活用した特産品の開発が全国各地で行われており、本市でも、各地域ごとの特色を生かした取り組みが盛んになっています。

固定促進課 ☎ 083・934・2778

Interview.

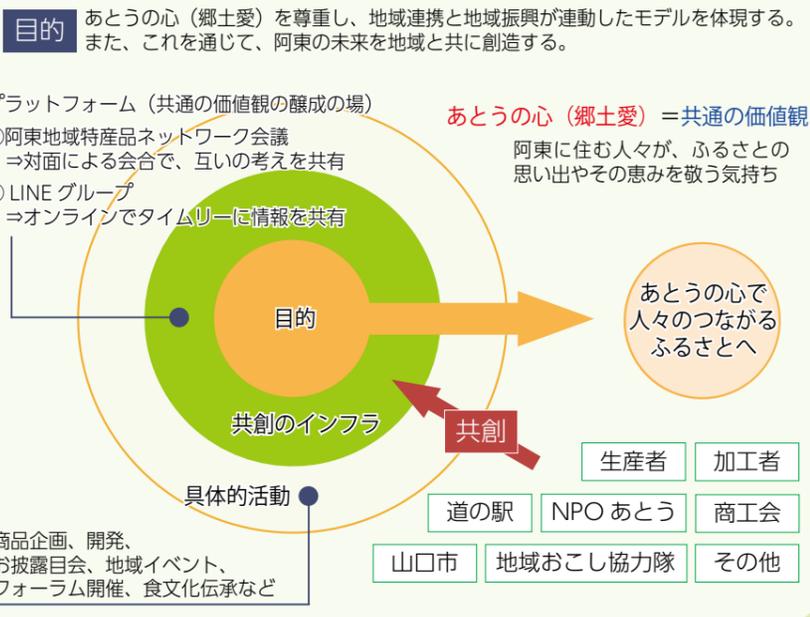
阿東地域特産品開発ネットワーク会議 事務局代表 椎木 耕司 さん

特産品の開発は重要なミッションですが、むしろそれは手段かもしれません。もともと、少子高齢化で衰退の危機にある地域や産業を、若い世代になんとかつなぎたいと思っていました。ですから、特産品開発をきっかけに人がつながり、ふるさとへの誇りが生まれることが何よりの願いです。参加者の根底にもそうした思いがあるので、開発した商品は、我がことのように全員がファンなんです。その思いがお客さんにも伝わって、阿東ファンが増えてくれたら、これ以上の喜びはありませんね。



「阿東地域特産品開発ネットワーク会議」モデル図

(阿東地域特産品開発ネットワーク会議 アドバイザー 西倉 慎顕 さん作成)



①品評の様子。試飲を重ね、意見を出し合ってより良いものを目指します。②より多くの人に知っていただくため、イベントへの出店も。③「わさびしょうゆ漬」関係者。同ネットワーク会議では、商品開発だけでなく、地域の味の伝承活動も行います。

現には多くの人の支えが必要になるからです。そこで、こうした個々では対処できない課題に一体となって取り組み、アイデアを形に変えて大きな事業展開を目指すという仕組みがカギになります。

こうした取り組みの具体的な事例のひとつが、阿東地域で展開されています。団体の名は「阿東地域特産品開発ネットワーク会議」。発足して2年程ですが、既に商品化して世に送り出された品もいくつかあります。団体の名称からは少し堅い印象を受けますが、参加する方々が同じ目的を持っているためでしょうか、現場の雰囲気は和やかです。会議では阿東地域の生産者はもちろん、行政や他地域の加工業者、さらにはデザイナーなど、さまざまな業種を横断した人材が集い、開発商品の検討や品質の向上のために、それぞれの立場から意見を交わします。そして、試食や試飲、味の改良などさまざまな工程を重ね、試行錯誤して作り出された商品が、地域の交流拠点である阿東の道の駅などに並ぶこととなります。

こうした試みは、すぐに結果につながるものではないかもしれませんが、ですが、そこで得られた経験が、これから数十年、百年と続く新たなブランドの下地になり、活動により生まれた人のきずなが、ふるさとへの愛着を育むことにはなはずです。実は、そうしたつながりや心こそが、もっとも誇るべき「わがまちの特産品」なのかもしれません。

特産品の力

山口市の特産品と聞いてみなさんは何を思い浮かべますか？ 外郎、大内塗、車海老、やまのいも。はなっこりーやりんごを挙げる方もいらっしゃるでしょう。いずれも私たちに馴染みがあり、本市を訪れる方たちに自信をもって紹介できるすぐれた産品です。もちろん本市以外の地域にも、これらと同様に特産品と呼ばれるご当地自慢の品々があります。

これらは、時間をかけてその地域内外の人々に愛されてきたものです。当然ながらそれぞれに誕生と定着の過程があり、最初からその名が広く知られたわけではありません。その地に根付き、生産者の工夫によって各地へ広がり、多くの人に好まれて定着するに至ったものです。そうして定着した特産品は、時に、地域の代名詞になるほどの価値を持ち、人々の暮らしや産業に大きな影響を与えることとなります。

「売るだけ」じゃない

こうした特産品を新たに開発し、地域の活力を向上させることができないか。誇りをもって作る自慢の品を、多くの人に知ってもらうことはできないか——。

多くの生産者が抱える悩みです。

地方の生産者にとって、特産品は大きな力となるのですが、その開発は容易ではありません。特産品の地位は、周囲に認知されてはじめて得られるため、実



ウェブサイトでも公開中

地域おこし協力隊の委嘱状交付式を行いました

6月1日(月)、都市部の人材が地域活性化に取り組みながら定住を目指す「地域おこし協力隊」に本市出身の田中美穂子隊員を任命しました。市内で活躍する6人の隊員に加え、新たに7人目として着任した田中隊員は、「中心商店街の活性化」を活動テーマに、商店街の関係者の皆さんと連携しながら、商店街が直面している課題の解決やにぎわいの創出に取り組みます。

田中隊員は、市内の高校を卒業後、大阪府の大学に進学し中国語を学ばれました。卒業後は航空会社で客室乗務員として勤務。このたび大阪府豊中市から帰郷されました。

同日、山口総合支所で行った委嘱状交付式で、市長から委嘱状を受け取った田中隊員は、「県外で過ごす中、山口市の魅力を再発見し、培ってきた経験を生かして、中心商店街の活性化に携わりたいという思いから、このたび応募した。商店街に来たくなる仕組み



市長から委嘱状を受け取る田中隊員

を考えている」と抱負を述べました。任期は最長で3年です。
 関ふるさと産業振興課 ☎083・934・934・2719

(株)井原組から発電機10台を受贈

6月11日(木)、株式会社井原組から、発電機10台を寄贈していただきました。



寄贈の様子

今回寄贈していただいた発電機は、同社が創立60周年を迎えられたことから、感謝の意を込めて、近年多発する自然災害において停電が発生した場合に対応できるように寄贈いただいたものです。

同社の井原昌一代表取締役社長は、「60年間企業として続けてこられたのも地域の方々のおかげ。恩返しという気持ちで寄贈をさせていただいた。避難所等で機動性のある活用をしていただきたいと思います。」と述べられました。市長は、「寄贈していただいた発電機は安全安心のまちづくりに向け、総合支所や地域交流センター等へ配置させていただきます。有効に活用したい」と感謝の意を述べました。

関防災危機管理課 ☎083・934・2723

梅雨時期に備え 防災図上訓練を行いました

5月26日(火)、梅雨時期を前に、災害に対する確かな対応ができるよう防災図上訓練を実施しました。



情報を地図上に整理する職員

職員約90人が参加し、迅速で的確な情報処理・伝達と関係部署への指示等、災害対策本部事務局の対応が円滑にできるよう、各担当の所掌事務について確認しました。

今年も新型コロナウイルス感染症防止のため、訓練を午前と午後の2回に分け、各回参加する職員を半分の約40人程度に限定し、3密を避ける対策を取るとともに、マスク着用や使用する機材等を適時アルコール消毒して取り組みました。また、避難所の開設や運営にあたり、感染症対策として、消毒の徹底や受付時の体調チェックなどの留意点も確認しました。

関防災危機管理課 ☎083・934・2723

国勢調査山口市実施本部を設置しました

6月1日(月)、国勢調査山口市実施本部を立ち上げ、看板設置式を行いました。

国勢調査は、日本国内に居住するすべての人(外国人を含む)および世帯を対象とした我が国最大の統計調査で、統計法に基づき5年に一度実施されます。また、今回の調査は、第1回(天正9年)の調査開始から、ちょうど100年の節目の年に当たります。



看板を設置した市長と実施本部長

本調査は、国内の人口・世帯の実態を把握することを目的とし、結果は、国や地方公共団体の各種行政施策等の基礎資料となるほか、企業等における需要予測や経営管理、学術・研究機関における研究など、さまざまな分野で幅広く活用されています。調査員による調査は、9月中旬から10月下旬に行う予定です。市では、国勢調査が正確かつ円滑に実施できるよう努めてまいります。

関情報企画課 ☎083・934・

災害発生時にあわてないよう 感染症の感染リスクを回避できる避難行動を確認しましょう

災害の危険度が高まった時には、外出自粛が呼びかけられている場合でも、迅速に避難し命を守る行動が求められます。「避難」とは「難」を「避」けることです。自宅での安全確保が可能な方は、在宅避難を検討してください。また、災害が発生するおそれのある場所にお住まいの方は、事前に安全な親戚や知人宅、ホテルや旅館、自治会の集会所などへ避難できないか確認しておくことが大切です。

なお、市が開設する避難所でも感染防止対策を行っていますので、不安を感じられた時はためらわず避難所へ避難してください。

関防災危機管理課 ☎083-934-2723



避難行動判定フロー あなたがとるべき避難行動は？

防災ガイドブックにあるハザードマップで自宅がどこにあるか確認し、印をつけてみましたか。

はい ↓ いいえ →

自宅がある場所に色が塗られていますか。

はい ↓ いいえ →

災害の危険があるので、原則として、自宅外に避難が必要です。

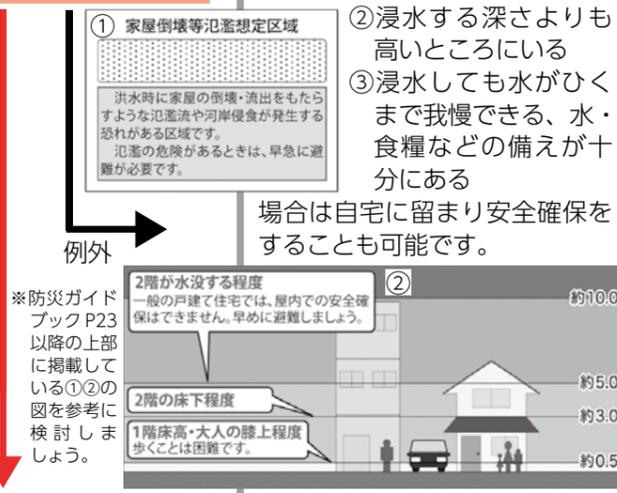
自宅外に避難する

ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図で、市報6月15日号と同時配布した防災ガイドブックに掲載しています。すぐに確認しましょう。

災害時は自宅に留まることをおすすめします。ただし、色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

マップに色が塗られていても、

①「家屋倒壊等氾濫想定区域」の外側である(水玉の枠外)
 ②浸水する深さよりも高いところにいる
 ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある
 場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。



安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい ↓ いいえ →

●親戚、知人宅へ避難

- 市の避難所への避難
 - ・地域交流センター
 - ・学校の体育館 など
- 自治会の集会所への避難
- ホテルや旅館への避難

多様な避難方法を検討しよう

●分散避難しよう

市が開設する避難所以外に、以下のような避難場所が確保できる場合は、そちらへの避難を検討しましょう。



- 自宅内の安全な場所
- 親戚や知人宅
- 自治会の集会所

※要配慮者や感染症の重症化リスクが高い人は、ホテルや旅館への避難も検討しましょう。

市の避難所における3つの感染症対策

- ・健康な方と体調が優れない方が接触しないようスペースを区別します。
- ・1人あたりのスペースを以前より広く確保します(1人あたり1.65㎡→4㎡)。
- ・通常より多くの避難所を開設し、避難者が集中しないよう配慮します。

あなたに実践してほしい！ 避難所内での感染防止対策

●到着時

- 避難者カードに、発熱等症状の有無や基礎疾患の有無、新規感染者発生地域(国)への移動歴等の有無について記入する
- 体温測定

●常時

- マスクの着用
- 咳エチケットの徹底
- 身体的距離を保つ

●定期

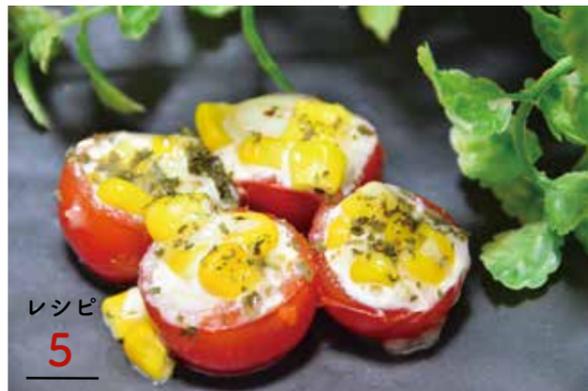
- 自分が過ごすスペースの定期的な清掃・消毒
- こまめな手洗い・手指の消毒
- 十分な換気
- 体温測定等の自己体調管理

赤や黄色の野菜が主役の かんたんおかず

2020.5 — 2020.8 図 保健センター ☎ 083-921-2666

一日3食、主食・主菜・副菜のそろった食事が習慣になることを目指し、小中学生に「赤や黄色の野菜が主役のかんたんおかず」を募集しました。小中学生が考えた「第14回ぼく・わたしのお料理コンクール」の入賞作品を紹介します。(学年は昨年受賞時)
受賞作品の作り方などを掲載したリーフレットは、各保健センターにあります。

●お弁当の一品にいかがで賞



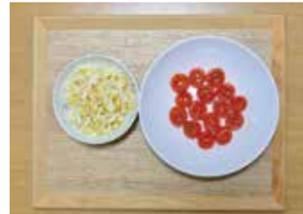
大内中2年 杉田実結さん考案

～リコピンたっぷり！～ つぶつぶコーンの トマカップグラタン

- 【材料(4人分)】**
- ミニトマト……16個 (直径3cm)
 - コーン……160g (缶または冷凍)
 - ピザ用チーズ……40g
 - マヨネーズ……大さじ1
 - 塩……少々
 - こしょう……少々
 - パセリ(乾燥)……少々

【作り方】

- ミニトマトの上1/3を切り落とし、スプーンで中身をくり抜いて器を作る。
- ボウルにコーン、チーズ、マヨネーズを入れて混ぜ、塩こしょうで味を調える。
- 1に2を入れて、パセリをふる。
- アルミカップに3を入れ、オーブントースター(1200W)で10～15分焼く。



●野菜がパクパク食べられるで賞



湯田中1年 平井達さん考案

ギョーザの皮の包み焼き

- 【材料(4人分)】**
- アスパラガス……4本
 - パプリカ……3個 (赤・黄・オレンジ)
 - ベーコン……4枚
 - スライスチーズ……3枚
 - ぎょうざの皮……20枚
 - オリーブ油……大さじ1

【作り方】

- 食材を切る。アスパラガスは4等分にして塩茹で、パプリカ・ベーコン・チーズは細切りにする。
- ぎょうざの皮に、パプリカ全色と他の1の材料を入れて包む。
- 熱したフライパンにオリーブ油をひき、2を焼く。



7月13日からがん検診がはじまります

■ 問い合わせ 健康増進課 ☎ 083-921-2666

新型コロナウイルス感染症の影響により作成を延期していた「令和2年度がん検診等受診券」を7月上旬に発送します。受診券の送付後、7月13日からがん検診等を開始します。定期的に検診を受けて自分の身体の健康状態をチェックしましょう。ただし、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言が再度発出された場合は、その期間の受診は感染防止のためお控えください。

対象者

20歳以上の女性、40歳以上の男性
年齢要件に該当する検診対象者に、検診項目が記載されたがん検診等受診券をお届けします。
※受診券の送付は年1回です。受診されるまで大切に保管しておいてください。なお、紛失等による受診券の再発行は、保健センターで行います。

検診を受けるには

検診を受けるには、原則予約が必要です。集団検診は各保健センターへ、個別検診は実施医療機関へ連絡してください。なお、受診するには、受診券が必要です。必ず検診会場へお持ちください。
※肺がん検診(結核検診)を受診される際は、事前に受診券の問診票への記入をお願いします。

検診の種類

肺がん検診(結核検診)、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、歯周疾患健診

受診券 水色で、封書サイズです。

無料対象者について

次の年齢の方は無料で受診できます。対象者は、受診券の自己負担金額欄に「無料」と記載しています。※前年度に胃内視鏡検査、子宮がん・乳がん検診を受診された方を除く。

■対象年齢(R2.4.1現在)

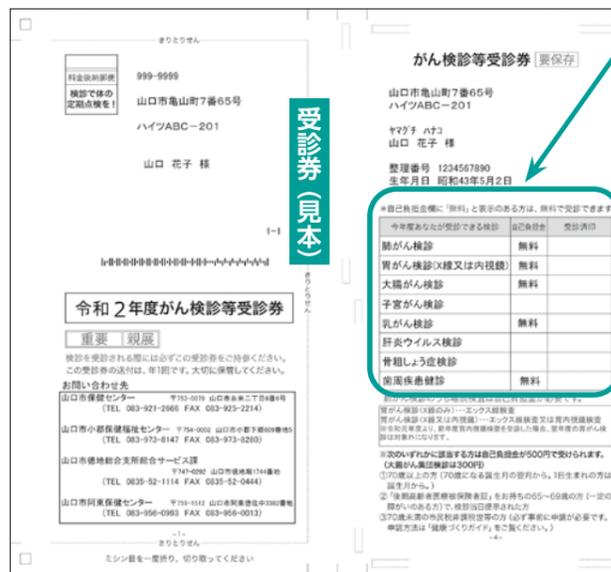
乳がん・胃がん・大腸がん検診	40・45・50・55・60歳の方 (乳がん検診は女性のみ)
子宮頸がん検診	20・25・30・35・40歳の女性
骨粗しょう症検診	40歳の女性
歯周疾患健診	40・45・50・55・60・65・70歳の方

集団検診の予約について

集団検診の予約は7月13日から順次開始します。詳細は、受診券の2ページ目をご覧ください。ウェブ予約は二次元コードを読み取ってください。



また、新型コロナウイルス感染症の影響により、6・7月の集団検診は延期(7/4、7/18の複合検診は中止)となりました。今後の日程については、決まり次第、市報や市ウェブサイト等でお知らせします。今年度の複合検診は感染予防のため、定員を大幅に縮小して実施します。



受診券(見本)

今年度あなたが受診できる検診	自己負担	費用
肺がん検診	無料	
胃がん検診(X線又は内視鏡)	無料	
大腸がん検診	無料	
子宮がん検診	無料	
乳がん検診	無料	
肝炎ウイルス検診		
骨粗しょう症検診		
歯周疾患健診	無料	

※30歳以上の方(70歳になる誕生日の前日から、1日生れの方は誕生日から)は、検診料は500円です。
※30歳未満の方(70歳になる誕生日の前日から、1日生れの方は誕生日から)は、検診料は1000円です。
※70歳未満の市民税非課税世帯の方(10/15までに申請が必要です。申請方法は「健康づくりがらみ」をご覧ください)は、検診料は無料です。



今後、草刈りや成長過程の観察等を経て、10月頃には収穫を体験し、地域の人たちともちつきを行う予定です。

表紙の写真
「田植えっ、はるかっすー!」
表紙の写真は、6月8日(月)に井関小学校で行われた「現代の田植え体験学習」の1コマです。
体験学習は5年生17人を対象に、小学校近くの田んぼで行われ、地元農家の方の協力により、農業機械を使用した田植えに挑戦しました。
強い日差しの中、田植機に乗り込んだ児童らは、真剣な表情でハンドルを握りしめ、慣れない運転に戸惑いながらも、もち米「ミヤタモチ」の苗を植え付け「まっすぐ進むのが難しかったけど、貴重な体験ができて楽しかった」と目を輝かせていました。
自分たちが毎日食べているお米がどのように育てられているかを実感できたこの経験は、子どもたちにとって大きな学びとなるでしょう。

● 広報広聴課 ☎ 083-934-2753

マスク等のご寄贈、心より感謝申し上げます。



3月末以降、150を超える市内の企業や団体、個人の皆様から、新型コロナウイルス感染症拡大防止に役立ててほしいと不織布マスクや布マスク、フェイスシールド等の衛生用品をご寄贈いただいております。多くの衛生用品が入手困難な状況下で、このようなあたたかいご支援は大変心強く、励みになります。皆様からのご厚情に改めて心より感謝申し上げます。

ご寄贈いただきました衛生用品は市内の放課後児童クラブをはじめ、高齢者関連施設や医療機関などで、活用させていただきます。また、市役所の行政窓口で業務にあたる職員もマスク等を活用させていただいております。

市では、1日も早い事態の終息を願いながら、引き続き真摯に業務に取り組んで参ります。

☎ 総務課 ☎ 083-934-2908



①マスクを着用し児童の宿題をみる「あっと児童クラブ」の職員
②市に寄贈いただいたマスクの一部③寄贈いただいたマスクは総合病院山口赤十字病院等の医療従事者にも配布しました④マスクを着用し窓口業務に当たる市の職員

■寄贈いただいた物品一覧 (6月15日現在)

月日	相手先	物品
3/23	(株) 夢グループ	不織布マスク
4/8	(株) ケイズ プランニング	不織布マスク
4/15	(株) ケイズ プランニング	不織布マスク
5/11	(医) 瑛幸会	不織布マスク
5/12	協和機工 (株)	防護服
		防塵マスク
		不織布マスク
		ガーゼマスク
5/13	岡崎 睦	不織布マスク 除菌液

月日	相手先	物品
5/14	(株) エビス商会	不織布マスク
5/18	ALL ONE (株)	不織布マスク
5/21	(株) Archis	不織布マスク
5/21	山口市一般廃棄物(協組)	不織布マスク
5/27	(株) アドギルド・ ジャパン、 日藤美健 (有)	不織布マスク
		フェイスシールド
5/28	(株) ヒロタニ	不織布マスク
6/4	(株) サダ技建	不織布マスク フェイスシールド
6/8	中村女子高等学校	布マスク

※そのほか市民の皆様から、多くの衛生用品をご寄贈いただいております。

市内でプレミアムな夏を

本格的な夏を迎える中、市民や事業者の皆様方には、新型コロナウイルス感染症防止に向けた「新しい生活様式」の実践に対する御協力、また、マスクなどの貴重な衛生用品を御寄贈いただき、本当にありがとうございます。

さて、今年は、小中学校の夏休みの短縮をはじめ、プールの開設や地域のお祭りが中止になるなど、いつもの夏の到来を心待ちにしていた子ども達や、家族で夏の計画を考えておられた皆様に、大変な御不便をおかけいたします。そうした中、

現在、本市では、緊急経済対策のひとつとして、

旅館組合や商工会議所の御協力を賜り、市民の皆様が市内の旅館やホテル、飲食店等で利用できるプレミアム付きのお得な宿泊券や応援チケットを販売しています。

市民の皆様には、是非、こうしたチケットの購入で本市の経済活動を応援していただきますとともに、市内の魅力を再発見されながら、御家族や御友人と心身のリフレッシュ、そして素敵な夏の思い出づくりができますことを願っています。

山口市長 渡辺純忠

